

12-03-21

4月21日(土)からmanaca連絡定期券の発売範囲を拡大します

名古屋鉄道では、4月21日(土)から始まる、manacaとJR東海の「TOICA」との相互利用サービス開始に合わせ、地下鉄線と名鉄・瀬戸線との連絡定期券に大曾根駅接続を、また、あおなみ線と名鉄線の連絡定期券を新規追加するなど、発売範囲の拡大を行います。これは、より多くのお客さまが1枚のmanaca定期券で電車をご利用いただけるように実施するものです。

これに伴い、発売範囲拡大に該当する2枚の通用期間終了日が異なる定期券をお持ちのお客さまに対し、通用期間の残った名鉄線定期券を無手数料で払いもどす、特例払いもどしを同日から実施します。

詳細は下記のとおりです。

記

1. 開始日 4月21日(土)
 *定期券の通用期間終了後、名鉄出札係員配置駅(赤池駅・蒲郡駅を除く)または名鉄名古屋駅サービスセンターで連絡定期券(manaca定期券)をご購入ください。

2. 連絡定期券発売範囲の拡大 ①地下鉄線との連絡定期券の接続駅に『大曾根駅』を追加

名鉄線	接続駅	地下鉄線
名鉄線 全線 *蒲郡線(三河鳥羽～蒲郡間) 広見線(明智～御嵩間) 瀬戸線の各駅を除く	名古屋 金山 赤池 上小田井 上飯田	全線
瀬戸線の各駅	栄町 大曾根(追加)	

*名鉄線内及び地下鉄線内の経路には一部制限があります。

- ②あおなみ線との連絡定期券を新規に追加

名鉄線	接続駅	あおなみ線
名鉄線 全線 *蒲郡線(三河鳥羽～蒲郡間) 広見線(明智～御嵩間) 瀬戸線の各駅を除く	名古屋	全線

*当社のみでの発売となります。あおなみ線では、連絡定期券の発売は行いません。

*名鉄線の経路には一部制限があります。

3. 特例払いもどし

①大曾根駅を発着とする地下鉄線と名鉄・瀬戸線

②名古屋駅を発着とするあおなみ線と名鉄線

それぞれ2枚別々にお持ちの定期券の通用期間終了日が異なる場合、通用期間の残った名鉄線定期券を無手数料で残存日数分払いもどしします。

■実施期間 4月21日(土)～11月30日(金)

特例払いもどしの計算方

定期券券面金額×申出日の翌日から通用期間終了日までの日数÷総日数〔1箇月(30日)、3箇月(90日)、6箇月(180日)〕=払いもどし金額(10円未満の数は切り上げて、10円単位にします)

*manaca連絡定期券をあらたにお買い求めいただく場合に限りです。

*発売範囲拡大に伴う変更に関限りです。

*払いもどし金額は、発売金額を上限とします。

*払いもどしの際は、公的証明書をご持参ください。(運転免許証など)

以上